

◎七ヶ宿町将来構想

高野 晃

1. 七ヶ宿町が現在抱える問題

1) 人口減少

安定した収入が得られる職場が無い
ダム補助金などの資産が有るので、当面の生活に困らない
若者の町離れ
地域活動の限界

2) 農業活動の困難化

高齢化
野生鳥獣被害

3) インフラの整備

2. 日本が抱える将来展望

1) 確実に招来する石油高騰

2) 電力不足 エネルギーの不足

3. それぞれの問題の具体的対策

1) 安定した収入が得られる職場が無い・若者の地域離れ

豊かな水源の有る七ヶ宿町に最も適した産業は「農業」である。
しかし、現時点の農業は、個人に迫る負担が大きく、重労働である。夏場炎天下の作業が過酷で、冬場の収入が無い。野生鳥獣との闘いも負担。
個人経営の限界点に来ている。その昔、上杉鷹山公は、米沢藩を立てなおす第一義として、「殖産興業」を行った。第一次産業は利益が薄いので、「加工製品」の販売の促した。

2) 若者の地域離れ

都会での仕事は、給料が安定していて、なおかつ、確実に休日を得られる。
農業は、天候に左右され、休日が無い。
町営住宅を作り、町内ではなく、仙台圏への通勤者の困り込みを図っているようだが、後で述べる、石油価格の高騰が予定されているので、いずれ破綻する。

3) 地域活動の限界

定期的に、除草作業・ごみ拾いが町内会で実施されているが、高齢化に伴い参加人員の減少・高齢化が懸念。
また、ボランティアで除草はできても、その処理費用はいかばかりか。

4) インフラの整備

東北大震災で体験したように、七ヶ宿町は、地震・台風に変強い地形をしている。また心配される蔵王の噴火も、火砕流の方向はそれているので、天変地異に強い土地柄だと言える。その証拠に、1万5千年続いた縄文遺跡が多い。
しかし、震災当時、電力が10日もストップし、交通の要であるガソリンの供給

が絶たれて苦しい思いをした。そんな意味で、柏木山に太陽光発電を設備したのは名案である。しかし、ガソリンの供給に対しては、全く手が打たれていない。

5) 石油価格の高騰

現在、米国がイランに対する援助を打ち切っただけで、ガソリンが20円も高騰した。911事件をきっかけに、イラン政権が倒されて以来、石油価格はアメリカ軍事産業の思うままである。科学者の間では、化石燃料の枯渇と言うのは、原子力産業を売り込みたい、米国のフェイクニュースであると言う意見も有るが、枯渇を武器に、価格操作を自由自在に行っている現状に代わりが無い。枯渇しないにせよ、価格がどんどん高騰していく事は、余儀ない。

6) 政府が原発再稼働にこだわるわけ。

長く続いた不景気と言われるが、日本の総資産は、リーマンショック時の3倍に及ぶと言うデータがある。すでに、景気の元になる資産は回復しているのに、なぜ、給料に反映していないのか。

それは、現政府の目指す「憲法改正」が軍国主義の復活ではなく、「軍需産業」の承認に有るからだ。北朝鮮の核開発の脅威を報道し、自衛隊の正当化をあおるのは、「戦争は嫌だけれど、武器輸出くらいならまあいいか」と言うところで落ち着かせたいからだと思われてならない。現時点でも、世界中のミサイルの弾頭・戦車のキャタピラ、弾丸の薬きょうは日本製だ。武器としては輸出できないが、圧力釜の部品・クレーンや重機の部品として、公然と得られている。昨年五月開催された「防衛機器博覧会」を見れば、国民がいかになめられているかが分かる。

加計学園事件で、愛媛県知事の発言が全く無視されているのは、地方自治体が国を動かしているのではないと自負している者が国を動かしていると言う事実から目を背けてはならない。

原発再稼働にこだわり、使用済み核燃料の保管にこだわるのは、原子爆弾の材料が、使用済み核燃料のプルトニウムであり、日本はロケット技術・弾頭技術では世界のトップクラスなので、憲法さえ許せば、いつでも原子爆弾が作れる、いや、憲法が許さなくても、非常時には「いつでも原子爆弾で報復できるぞ」と言う脅しなのです。

このような現状ですから、地方行政は、いつでも自立できる、「自給自足体制」を確定する事が急務だと思うのです。

4. これらの諸問題を解決する提案

私が、28年前、当地に転勤してきた時に、提案した「農業株式会社」構想を再提案します。当時は、先祖伝来の土地に固執する住民が多く、実現は無理だと言われましたが、予想通り、農業個人経営が困難に成りつつあるのではないですか。

私の見る景色の中に「休耕田・放置地区」が多く見られるように成りました。また、私の勤務する西山学院高等学校の校地内にも、夜間に猪が出没し、被害甚大です。これは、放置された山林の下草が整備されないために、猿や猪、熊・カモシカなど

の野生動物が、人間社会に接近し、放置された草むらを自由自在に動き回るようになった結果ですよね。まず、この野生動物たちを自然に帰さなければなりません。つまり、緩衝地帯を無くさなければ成らないと言うことです。そのための構想がこうです。

まず、町全体で休耕地を借り受け(先祖伝来の土地を手放す訳ではない)、4 つ乃至3つの事業を運営する。

①稲作・・・冷たくきれいな水を活かし、ブランド米を作る。

②畑作・・・天候異変に備え、早魃に強いもの、冷害に強いもの複数種を扱う。

③牧畜業・・・私は養豚が良いと思うが、昔から米沢牛の育成地であったので牛・乳牛でも良いと思う。

とくに、②と③の組み合わせで、畑作で間引かれた、販売できない野菜を豚の飼料に、牛豚の糞尿は、醗酵させ有機肥料に転用する。ことが狙い。

豚を勧めるのは、冬季の農閑期にハムやベーコンの加工作業を行えば、年間を通して仕事出来る事に有ります。牛であれば、乳牛としてだけではなく、チーズやバターに加工して売る事を考えれば、付加価値が生まれ、雇用を生む事に成ります。

また、この3つを組み合わせる利点は、作業の分担と土地活用に有ります。

私は、農業に詳しく有りませんので、全ての作業を精査したわけでは有りませんが、米作では、田植え・草取り・稲刈りに代表される、集中作業が有りますよね。今七ヶ宿では圃場が整備されて、機械化出来る事と思いますので、米作地をドーナツ状にし、その内部で、畑作を行えば、野生動物との隔離が適うと思うのです。更に、稲作の外側に、放牧地を作れば、柵が困りに成りますし、見通しの言い緩衝地帯が有れば、野獣との分離が出来ます。

この耕作地を四角形にするのではなく、ドーナツ状または細長い形にするのは、寛政の改革で埼玉県三芳町の三富の開拓で時の老中柳沢が行った方法です。河川にそって、細長い七ヶ宿の耕地では、縦長にするのがよいかもかもしれません。

④山菜の養殖

株式会社形式にして、3つの事業を分担して、回り持ちで行えば、当然、有給休暇と言うような余裕も生まれるでしょうし、その年の業績により、ボーナスと言う魅力も有りましょう。しかし、私が最も期待しているのは、作業の効率化により、あまった時間で、山と人里の間に、昔は有った緩衝地帯、下刈りされた林間を作る事に有ります。売れない林業のために放置された杉材は、とっとと切っ飛ばし、七ヶ宿に最も適した栗木を植えたらどうでしょう。縄文時代から七ヶ宿には大粒でおいしい栗が有りました。栗の実が落ちるのは短期間ですから、下刈りした斜面に植えておけば、自然に収穫できます。大きな栗の下のみるい草地には、西山学院では、独活や蕨が成っています。七ヶ宿では広葉樹の下草には山菜やきのこが成っていたのでは有りませんか。それらを採取して加工品として販売すれば、それも収入に成ります。

5. 最後の問題

実は私の構想の根幹は、単に株式会社で儲ける事ではありません。世界の動向を見るに、米国中心の動向は、経済優先で、トランプ大統領が口を滑らした「地球温暖化は欺瞞」発言が示すとおり、「二酸化炭素が温暖化の原因」と言うのは、幾分嘘では無いでしょう。しかし、米国経済を支える軍需産業の利益のために、テロと称して、常に戦争の脅威を生み出しているのが現状です。放射性物質の半減期のために、常に原子爆弾の更新を必要とし、大量の熱を放出する原発を使い続けたために、本当に温暖化を無視できない状態になりながら、金持ちアメリカはどこかの星に脱出する事を前提に、更に温暖化を促進しています。

その時、先進国でありながら「緑被率世界第2位」である日本の「自然環境維持の歴史」が大きく物を言う時代が来ると思うのです。その時こそ、おいしいきれいな水を誇りに、自給自足で生きられる七ヶ宿の存在が価値を示すと思うのです。

全ての構想の実現に、実は足りないものがあります。

水は豊かです。人材も職場さえあれば戻ってきます。休耕地が増えているので、土地も大丈夫です。電力も大丈夫そうです。しかし、山地七ヶ宿では、移動のために、必ずガソリンが必要な事は目に見えています。

私は、山形大学の研究とと思っていましたが、実際は滋賀県の琵琶湖の水草退治に滋賀大学と滋賀県の共同で開発された、バイオマス計画と言うものが有ります。

人口2000人程度の生活に必要なバイオエタノールを雑草から作るプラントが2000万円で出来ると言うものでした。現在ではそれを乗用車の燃料バイオエタノールとして、滋賀県全体で普及しているし、宮城県でも、仙台市と石巻に協賛事業が展開されています。里山を下刈りした雑草も、町内で除草作業した雑草も、金を払って処理してもらうのではなく、燃料に作りかえれば、最低刈り払い器やトラクターの燃料にはなりますよね。

電気が有り、バイオエタノールが有り、水があれば、完全な自給自足経済が可能だと思っておりますが、素人ですので構想だけです。農作業されているかたがたの意見を集約すれば、七ヶ宿では十分実行可能な構想だと思っておりますが、いかがでしょう。

七ヶ宿の周りの雑草・雑木の量から考えると、バイオプラントは2基でも3基でも良いと思うのですが。